

## 安全データシート

## 酸化りん(V)

改訂日: 2024-01-24 版番号: 1

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品識別子

製品名	: 酸化りん(V)
CB番号	: CB9245033
CAS	: 1314-56-3
EINECS番号	: 215-236-1
同義語	: 水酸,酸化リン(V)

## 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: 医薬・農薬・界面活性剤・難燃剤原料, 脱水剤, 消火剤 (NITE-CHRIPより引用)
推奨されない用途	: なし

## 会社ID

会社名	: Chemicalbook
住所	: 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	: 400-158-6606

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 分類実施日(物化危険性及び健康有害性)

R5.3.31、政府向けGHS分類ガイダンス(令和3年度改訂版(Ver2.1))を使用

## 物理化学的危険性

-

## 健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1

皮膚腐食性/刺激性 区分1

## 分類実施日(環境有害性)

ガイダンス(H20.9.5版)(GHS 2版)

## 環境に対する有害性

-

## 2.2 注意書きも含む GHSラベル要素

## 絵表示

GHS05

#### 注意喚起語

危険

#### 危険有害性情報

H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。

#### 注意書き

#### 安全対策

P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P260 粉じんを吸入しないこと。

#### 応急措置

P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。

P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

#### 保管

P405 施錠して保管すること。

#### 廃棄

P501 内容物 / 容器を承認された処理施設に廃棄すること。

---

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
別名	: Phosphoric anhydride Phosphorus(V) oxide
化学特性(示性式、構造式等)	: O5P2
分子量	: 141.94 g/mol
CAS番号	: 1314-56-3
EC番号	: 215-236-1
化審法官報公示番号	: 1-523
安衛法官報公示番号	: -

---

### 4. 応急措置

#### 4.1 必要な応急手当

##### 一般的アドバイス

応急措置担当者は自分が暴露しないよう、適切な防護を行う。この安全データシートを担当医に見せる。

##### 吸入した場合

吸入後は新鮮な空気を吸うこと。ただちに医師の診察を受けること。

#### 皮膚に付着した場合

皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。直ちに医師を呼ぶ。

#### 眼に入った場合

眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。ただちに眼科医の診察を受けること。コンタクトレンズをはずす。

#### 飲み込んだ場合

飲み込んだ後は水を飲ませ(多くてもグラス2杯)、嘔吐を避ける(穿孔のリスクあり)直ちに医師を呼ぶ。中和させようとしなすこと。

### 4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

### 4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

---

## 5. 火災時の措置

### 5.1 消火剤

使ってはならない消火剤

水泡

適切な消火剤

現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。

### 5.2 特有の危険有害性

周辺の火災で有害な蒸気を放出することがある。

次の臓器には触れないであろう: 水

不可燃性である。

リンの酸化物

### 5.3 消防士へのアドバイス

自給式呼吸器がある場合のみ危険区域に留まってもよい。安全なゾーンまで離れるか適切な保護衣を着用して、皮膚に触れないようにすること。

### 5.4 詳細情報

ガス/蒸気/ミストを水スプレージェットで抑える(除去する)。消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

---

## 6. 漏出時の措置

### 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

救急隊員以外への助言: ほこりを吸い込まないこと。触れないようにすること。十分な換気を確保する。危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談のこと個人保護については項目8を参照する。

### 6.2 環境に対する注意事項

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

### 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと（セクション 7、10参照）乾燥剤で処置すること。正しく廃棄すること。関係エリアを清掃のこと。ほこりを生じないようにすること。

### 6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 7.1 安全な取扱いのための予防措置

#### 安全取扱注意事項

作業場を乾燥状態に保つこと。本品が水と接しないようにすること。

#### 衛生対策

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。注意事項は項目2.2を参照。

### 7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

#### 保管クラス

保管クラス (ドイツ) (TRGS 510): 8A: 可燃性、腐食性危険物

#### 保管条件

アルゴン下で貯蔵する。密閉のこと。乾燥。水に近づけないようにする。保管中は、製品と水との接触を絶対に避ける。空気および湿気に反応する。

### 7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 8.1 管理濃度

#### コンポーネント別作業環境測定パラメータ

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

### 8.2 曝露防止

#### 適切な技術的管理

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。

#### 保護具

##### 眼 / 顔面の保護

NIOSH (US) または EN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。密着性の高い安全ゴーグル

##### 皮膚及び身体の保護具

手袋を着用して取扱う。使用前に、必ず手袋を検査する。（手袋外面に触れずに）適切に手袋を脱ぎ、本製品の皮膚への付着を避ける。適用法令およびGLPに従い、使用後に汚染手袋を廃

棄する。手を洗い、乾燥させる。

選ばれた防護手袋は、EU指令2016/425の仕様と、それから派生する規格EN374を満たすものでなければならない。

フルコンタクト

材質: ニトリルゴム

最小厚: 0.11 mm

破過時間: 480 min

試験物質: Dermatril® (KCL 740 / Aldrich Z677272, Size M)

飛沫への接触

材質: ニトリルゴム

最小厚: 0.11 mm

破過時間: 480 min

試験物質: Dermatril® (KCL 740 / Aldrich Z677272, Size M)

データソース: KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, 電話 +49 (0)6659 87300, e-mail sales@kcl.de,

試験方法: EN374

EN374とは違った条件の下で、溶液の中、または他の物質と混ぜて使われる場合は、EC認可手袋の供給業者に問い合わせる。この勧告は単なる助言であり、予想される用途の特定状況に精通した産業衛生専門家並びに安全管理者により評価されなければならない。任意の使用方法について許可を受けていると理解すべきではない。

身体のプロtection

耐酸性の防護衣類

呼吸用保護具

ほこりが生じた際に必要。

次の規格に準拠しているフィルター式呼吸器保護具を推奨します。DIN EN 143、DIN 14387および使用済み呼吸器保護システムに関連する他の付属規格。

環境暴露の制御

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

## 9. 物理的及び化学的性質

### Information on basic physicochemical properties

物理状態 固体 (20°C、1気圧) (GHS判定)

色 白色

臭い 無臭

データなし

データなし

2.3 g/cm<sup>3</sup>(CRC (2013)) 2.3 -(Lewis (2001)) 2.39 -(HSDB (2022))

1.3 mbar(388°C)(Hommel (1996)) 1 mmHg(384°C (SOLID))(HSDB (2022))

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

不燃性であるが、発火作用がある(Hommel (1996))

不燃性であるが、発火作用がある(Hommel (1996)) 20 °C(道路輸送危険物のデータシート (1996))

データなし

データなし

605 °C(CRC (2018)) ≧300 °C(昇華)(Hommel (1996)) 300 °C(昇華)(Lewis (2001))

562 °C(固有の圧力のもとで)(Hommel (1996)) 340 °C(Lewis (2001)) 580~585 °C(加圧)(化学薬品の混触危険ハンドブック (1997))

## 融点/凝固点

562 °C(固有の圧力のもとで)(Hommel (1996)) 340 °C(Lewis (2001)) 580~585 °C(加圧)(化学薬品の混触危険ハンドブック (1997))

## 沸点、初留点及び沸騰範囲

605 °C(CRC (2018)) ≧300 °C(昇華)(Hommel (1996)) 300 °C(昇華)(Lewis (2001))

## 可燃性

データなし

## 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

データなし

## 引火点

不燃性であるが、発火作用がある(Hommel (1996)) 20 °C(道路輸送危険物のデータシート (1996))

## 自然発火点

不燃性であるが、発火作用がある(Hommel (1996))

## 分解温度

データなし

## pH

データなし

## 動粘性率

データなし

## 溶解度

データなし

## n-オクタノール/水分配係数

データなし

## 蒸気圧

1.3 mbar(388°C)(Hommel (1996)) 1 mmHg(384°C (SOLID))(HSDB (2022))

## 密度及び/又は相対密度

2.3 g/cm<sup>3</sup>(CRC (2013)) 2.3 -(Lewis (2001)) 2.39 -(HSDB (2022))

## 相対ガス密度

データなし

## 粒子特性

データなし

---

# 10. 安定性及び反応性

## 10.1 反応性

水と激しく反応。

## 10.2 化学的安定性

湿気に弱い

## 10.3 危険有害反応可能性

水と激しく反応。

## 10.4 避けるべき条件

湿気

## 10.5 混触危険物質

データなし

## 10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

---

# 11. 有害性情報

## 急性毒性

### 経口

【分類根拠】 データ不足のため分類できない。

### 経皮

【分類根拠】 データ不足のため分類できない。

### 吸入:ガス

【分類根拠】 GHSの定義における固体であり、区分に該当しない。

### 吸入:蒸気

【分類根拠】 データ不足のため分類できない。

### 吸入:粉じん及びミスト

【分類根拠】 データ不足のため分類できない。なお、旧分類の根拠とされたIUCLID (2000)の試験データは入手可能なList 2情報源からは確認できなかった。

## 皮膚腐食性及び皮膚刺激性

【分類根拠】 (1)、(2)より、区分1とした。

【根拠データ】 (1)本物質は皮膚及び眼に腐食性及び刺激性を示す(Patty (6th, 2012))。 (2)本物質は腐食性を有する(HSDB in PubChem (Accessed Aug. 2022))。

【参考データ等】 (3)EUではSkin Corr. 1Aに分類されている(CLP分類結果 (Accessed Aug. 2022))。

#### 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

【分類根拠】 (1)、(2)より、区分1とした。

【根拠データ】 (1)皮膚腐食性/刺激性で区分1である。 (2)本物質は皮膚及び眼に腐食性及び刺激性を示す(Patty (6th, 2012))。

#### 呼吸器感作性

【分類根拠】 データ不足のため分類できない。

#### 皮膚感作性

【分類根拠】 データ不足のため分類できない。

#### 生殖細胞変異原性

【分類根拠】 データ不足のため分類できない。

【参考データ等】 (1)In vitroでは、チャイニーズハムスター肺由来細胞を用いた遺伝子突然変異試験(OECD TG473、GLP)で陰性(S9+/-)の結果がある(REACH登録情報 (Accessed Aug. 2022))。

#### 発がん性

【分類根拠】 データ不足のため分類できない。

#### 生殖毒性

【分類根拠】 データ不足のため分類できない。

#### 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

【分類根拠】 データ不足のため分類できない。

#### 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

【分類根拠】 データ不足のため分類できない。

【参考データ等】 (1)約 $0.17 \pm 0.12$ mg/m<sup>3</sup>の本物質ばく露レベルの作業状況下で8時間/日、約200日/年(計40年以上従事)で作業した約20人には、本物質ダストに関連する肺疾患はみられなかった。また、約70人の作業者について肺機能検査が毎年実施されたが、リン粉じんに関する肺機能の変化は観察されなかったとの報告がある(REACH登録情報 (Accessed Aug. 2022))。

#### 誤えん有害性\*

【分類根拠】 データ不足のため分類できない。

\* JIS Z7252の改訂により吸引力呼吸器有害性から項目名が変更となった。

---

## 12. 環境影響情報

### 12.1 生態毒性

データなし



## 藻類に対する毒性

止水式試験 最大無影響濃度 - *Desmodesmus subspicatus* (緑藻) - 12.5 mg/l -

72 h

## 12.2 残留性・分解性

データなし

## 12.3 生体蓄積性

データなし

## 12.4 土壌中の移動性

データなし

## 12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

## 12.6 内分泌かく乱性

データなし

## 12.7 他の有害影響

pHの変化により、水生生物に対して有害となる可能性がある。

---

# 13. 廃棄上の注意

## 13.1 廃棄物処理方法

### 製品

内容及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。

---

# 14. 輸送上の注意

## 14.1 国連番号

ADR/RID (陸上規制) : 1807 IMDG (海上規制) : 1807 IATA-DGR (航空規制) : 1807

## 14.2 国連輸送名

IATA-DGR (航空規制) : Phosphorus pentoxide

IMDG (海上規制) : PHOSPHORUS PENTOXIDE

ADR/RID (陸上規制) : PHOSPHORUS PENTOXIDE

## 14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID (陸上規制) : 8 IMDG (海上規制) : 8 IATA-DGR (航空規制) : 8

## 14.4 容器等級

ADR/RID (陸上規制) : II IMDG (海上規制) : II IATA-DGR (航空規制) : II

## 14.5 環境危険有害性

非該当

ADR/RID: 非該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR (航空規制): 非該当

## 14.6 特別の安全対策

なし

## 14.7 混触危険物質

---

## 15. 適用法令

### 労働安全衛生法

労働安全衛生法に基づくラベル表示・SDS交付の義務化候補物質リスト(令和4年)

### 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

### 毒物及び劇物取締法

該当しない

### 船舶安全法

腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)

### 航空法

腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)

---

## 16. その他の情報

### 略語と頭字語

EC50: 有効濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

### 参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>

【2】化学物質審査規制法(化審法) <https://www.env.go.jp>

- 【3】 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） <https://www.chemicoco.env.go.jp>
- 【4】 NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP） <https://www.nite.go.jp/>
- 【5】 カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>
- 【6】 ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
- 【7】 ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
- 【8】 eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト [http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request\\_locale=en](http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en)
- 【9】 ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】 有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】 HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】 IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】 IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】 Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

**免責事項:**

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。